朝な夕なに（1957）

IMMER WENN DER TAG BEGINNT

メディア 映画
ジャンル ドラマ　ロマンス
製作国　西ドイツ
色彩　Color
時間　102分
初公開日 1958/09/20
公開情報 ＮＣＣ＝ユニオン

【解説】

旧西独、偉大な詩人シラーの名を取ったギムナジウムに、美しい新任の女教師（Ｌ・ロイベリク）が着任する。生徒たちは彼女への憧れを隠さない。彼女もまた、人間的なふれあいを大切に指導を心がけるが、教師はただ知識の仲介者にすぎないとする厳格な校長と対立。生徒の私生活に立ち入ることを禁止される。そこへ、以前より彼女への思幕を募らせていた生徒（Ｃ・ヴォルフ）からの愛の告白を受け、彼女は動揺する。そして、教師と生徒の間柄、年齢差など言い含めるのだが、恋に燃え上がる少年の心を諌めることはできず、彼女に拒まれたと思い、絶望した彼は女友達と自殺を図る。そして、彼らの葬儀がすむと、うちひしがれた彼女もまた学院を去っていくのである……。今みればナイーヴにすぎる所もあるだろうし、描き込み足りなさも感じるかも知れぬが、ドイツ映画らしく真面目に師弟愛が男女の愛に踏み入るさまを描いて好感が持てる。ラストの葬儀の場面など泣かせる演出は、「菩提樹」のリーベンアイナー監督。少年たちの奏でるジャズの使い方もうまい。

【クレジット】

監督	ヴォルフガング・リーベンアイナー	Wolfgang Liebeneiner
原作	ゲオルグ・フルダレク	George Hurdalek
脚本	ウッツ・ウターマン	Utz Utermann
	ヴォルフガング・リーベンアイナー	Wolfgang Liebeneiner
撮影	ヴェルナー・クリーン	Werner Krien
音楽	フランツ・グローテ	Franz Grothe
出演	ルート・ロイヴェリーク	Ruth Leuwerik
	ハンス・ゼーンカー	Hans Sohnker
	クリスチャン・ヴォルフ	Christian Wolff

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.